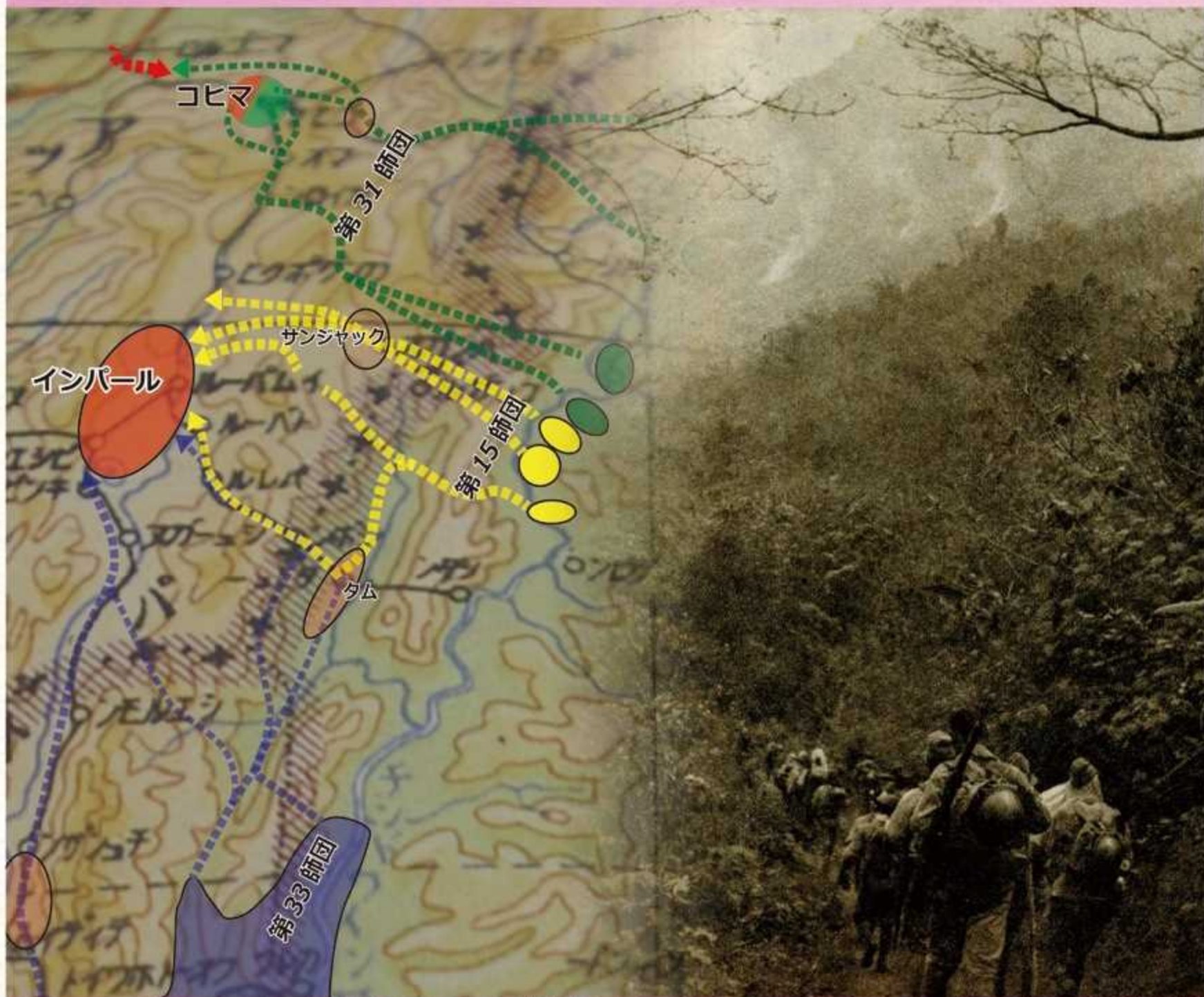


滋賀県平和祈念館 第26回企画展示

兵士を襲った感染症と飢餓

—インパール作戦とビルマ—



『六百万分一 南方輿地図』昭和16年、大日本帝國陸地測量部発行

「決戦の日続くビルマ最前線のわが精鋭」ビルマ北部の密林を行軍する部隊
(アサヒグラフ第67報 昭和18年6月16日号、朝日新聞社発行)

令和2年(2020年)

7月18日**土**～11月1日**日** <入館無料>

開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 月・火曜日(7月20日～8月31日は無休)

駐車場 / 約50台(無料)

詳しくはホームページ
「しがけんバーチャル平和祈念館」をご覧ください。

[しがけんバーチャル平和祈念館](#) **検索**



滋賀県平和祈念館

〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番
TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350 E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp

兵士を襲った感染症と飢餓

—インパール作戦とビルマー—

日本から2,000km以上も遠く離れたビルマ（現在のミャンマー）は、アジア・太平洋戦争において、日本軍がインドのイギリス軍や中国雲南地域の中国国民党軍などと対峙した西の最前線でした。昭和19年（1944年）3月、様々な情報を無視した陸軍の作戦計画のもと実行されたインパール作戦は敗北に終わり、多くの兵士が犠牲となりました。アジア・太平洋戦争を通して、ビルマ・インドでの日本軍の戦没者数は166,900人に及びます。多くの方々は、満足な補給を受けられない中、飢えや感染症で亡くなりました。

今回の企画展示では、インパール作戦やその後のビルマでの戦争を中心に、戦場に蔓延したマラリアや赤痢などの感染症に苦しめられた兵士たちの姿を体験談やモノ資料で紹介します。



防戦手袋（奥野 正一さん 提供）

インパール作戦で破損した双眼鏡
（堀田 肇さん 提供）

【学芸員による企画展示説明会】

令和2年7月25・26日（土・日）13:30～ 定員：各20名
（当日受付、定員になり次第受付終了）

【地域交流室】

ヒロシマ・ナガサキ ミニミニ原爆展 令和2年7月1日（水）～8月30日（日）
戦時中の体験 触れる 感じる そして考える 令和2年9月2日（水）～12月20日（日）

【平和を祈念する日事業】

令和2年8月8日（土）～16日（日）

・映画上映会や戦争証言映像の上映会などを行います。
※なお、映画上映会は事前予約制となっております。詳細については、滋賀県平和祈念館にお問い合わせ下さい。

【映画上映会】

・新型コロナウイルス感染防止のため、当館の間は事前予約制となっております。詳細については、滋賀県平和祈念館にお問い合わせ下さい。

イベント等は、新型コロナウイルスの蔓延状況によって中止する場合があります。参加ご希望の場合は、事前に当館ホームページなどでご確認ください。

アクセス



- 近江琵琶湖線（東海道線）近江八幡駅下車
近江鉄道八日市駅からバスで約20分（愛東支所・診療所前）下車すぐ
- 名神高速道路（八日市IC）から車で約10分【駐車場／約50台（無料）】

平和祈念館からのお願い

● 体験談に関して

滋賀県平和祈念館では、国内外で戦争を体験された方の体験談を募集しています。対象は現在、滋賀県にお住まいの方、または滋賀県に関係して戦争・戦時中の生活を体験した方です。調査員がうかがってお話しをお聞きします。

● 資料寄贈に関して

戦没された方の遺品、戦時に使っておられた品物、戦争に関わる写真・書類などを寄贈していただける方を探しています。対象は体験談と同じです。また、滋賀県に関わる戦争体験談が載っている冊子・手記・戦友会等の会報なども探しています。皆様のご協力をお願いします。

詳しくは「滋賀県平和祈念館」までお問い合わせください。

TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350

E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp